

# ゆうりん

公式SNS、  
ぜひご覧  
ください♪



@AMASYAKYO.9043

## わたしと、ボランティア。②

先月から始まった特集記事。ここでは、ボランティアに関わる「一人」の人を紹介しながら「ボランティアって一体何を担ってるんだろう?」「ボランティアがそこに关わる意味って?」を伝えていきます。

仕事の場合、1種類を数か月、あるいは数年続けることも多い中、ボランティアは、何種類もの活動を同時に並行してできるのも、魅力のひとつ?

今回はボラセン登録13年!視覚障がいの方のガイドヘルプ、こども食堂での調理、乳幼児の見守り等、柔らかい笑顔がチャームポイントのMさんにお話をききました。

### ボランティアをはじめるきっかけは

▶人との関わりを持ったり、人の役に立ちたいと思っていたけど、ボランティアをしている知り合いもいなくて…。そんなとき、ボラセンの講座に参加したんです。

### どんな活動からスタート

▶障がい者スポーツのお手伝いです。はじめは緊張して身体がカチカチになっていました。その後、障がい者施設のお祭りや施設機関紙の発行作業のお手伝いに申し込んで参加をしていました。それがきっかけで現在でも続いている活動もあります。



### ボランティアをする時に意識していることは

▶「ことば遣い・あいさつ・話しやすい雰囲気・他言しない」。ボランティアでの出会いはご縁なので、お互い相性が合わない時もあると思うけど、できるだけそのご縁を大切にしたいので。

### ボランティアを長く続けておられる秘訣は

▶気をつかわないこと。参加することが苦痛にならないよう、自分のできる範囲のことをすること。私にとっては、もしかしたら「自分の居場所」探しなのかもしれない。参加することでいろいろな人との出会いがあり、活動に行った日は充実感でいっぱいですよ。



お話をきいたのは個人の方の通院付き添いの日。制度が整っていない中、一人ひとり状況やニーズが異なる、個人の日々を支える活動も、ボラセンではコーディネートしています。「ボラセンが間に入ってくると活動がしやすいです。こんな私でもよかったら、また声をかけてくださいね」とMさん。AIでのマッチング?が広がる中で、ボラセンも、「出会いのご縁」を大切にしていきたいです。

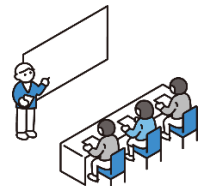
## ぼちボリの会

6月13日(金)10時から11時30分  
尼社協ほっと館1階ロビー



- 当日参加できます(申込みなし)
- いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
- 持ちものは、ありません
- エコ封筒づくりや切手整理などをします
- ボランティアのご相談も、お気軽に!
- \*7月は15日(火)の予定です!

## 6月は 助成金説明会!



登録ボランティアグループのみなさんには、「県ボラ・市ボラ」の助成金説明会について、ご案内しています。

6月13日(金)までが出欠のメ切です。グループ同士が顔を合わせる機会でもあるので、ぜひご参加くださいねー!

コーディネーター  
ひとりごと。



ボラセンのボランティア登録者数は個人も団体も年々減っています。体力的にもう続けられないかなど、登録から身を引かれる方も少なくありません。登録者数というものさししてみると、減少というのはマイナスな印象ですが、登録者が減ることとボランティア活動が衰退していることは、必ずしもイコールではないと思っています。なぜなら、みなさんと日々関わらせていただく中で、ボランティアへの思いやスタイルが本当に多種多様にあり、生活の中に溶け込んだ、「ボランティア」と名乗らない活動を続けておられる方の多いこと。

さらに、「実はずっとボランティアやってみたいと思っていて…」なんて声も多い！こんなにもボランティアな気持ちを持った方が多いのは、阪神間でも尼崎が一番ちゃうん?!と思います（しらんけど）。登録者数というものさし以外で、尼崎のボランティア活動の広がりやパワーを“見える化”していきたいな…と思います。「わたしとボランティア」のコーナーでも発信していますが、こんなアイデアもあるよ♪というご意見があれば、お聞かせくださいね。

## ✎ “ボランティア”の現場から。⑬

あまがさきの  
ホームビジターは  
現在24人

「誰かと話せる時間があれば変わったかもしれない」「楽しく子育てができる社会になれば」「こどもが大好き、共働きやワンオペのお母さんも多いので役に立てたら」そんな思いで活動するホームビジターというボランティアが、県内で唯一、尼崎市内で活動しています。

「未就学のこどもがいる家庭に、地域のボランティアが訪問する」ホームスタート、利用者のニーズで活動は変わりますが、特に多いのは「話を聴いてほしい」という声。ある方（Aさん）は、近くに頼れる人がおらず日中はこどもと2人きり。自分の子育てがこれでいいのかなと落ち込んでしまう、という理由でホームスタートを希望されました。

ホームビジターの訪問を終えたAさんは「話をたくさん聴いてくれて、いつも私のことを褒めてくれて、それが一番嬉しかった」と笑顔で話してくれました。ビジターは「寄りそって話を聴いているだけでAさんがどんどん元気になっていく。その姿からパワーをもらっている」と話してくれました。孤独な子育て、一方でインターネット上の情報に混乱させられる今の子育てでは、「そばにいて、一緒に子育てに寄り添う」ホームビジターの存在が、保護者とこどもの笑顔につながっています。

「一緒に公園や子育て広場に行きたい」「こどもとの遊び方に自信がないから一緒に遊んでほしい」「双子では何をやるにも手がたりないので、一緒にこどもと関わってほしい」等、そんな声に、ホームビジターのみなさんが、今日もいっしょに寄り添っています。

\*6月からホームビジター養成講座もスタート！一緒に笑顔を届けにいきませんか？

★養成講座については、お問合せいただくか、ホームページをご覧ください！→



【つづける、つながる、“ちから”になる。】いつも収集活動、ありがとうございます！

—順不同・敬称略—

### 【切手&プルタブ】

佐々木卓子/ジオジオの会/川崎和恵/にこにこ一座/  
木村登/いづもや山田/劉成朝

### 【切手（整理含む）】

関西熱化学(株)/青山叔子/指の会/コープこうべ/  
藤井棟昭/大橋都子/立花ボランティアグループ  
「かざぐるま」

### 【プルタブ】

宮の北長生会/★長谷川達雄/尼崎あぜくら作業所 矢野雅彦/  
道上美幸/横田敏治/沢本仁一郎/鍋倉淳夫/阪神尼崎ラジオ  
体操会/福井/Amamaru こども食堂/稲葉荘社会福祉連絡  
協議会/山本千鶴/NPO法人大東ネットワーク事業団/次屋  
東福祉協会/常光寺社会福祉連絡協議会/塚口第三住宅福祉  
協会・富松/浦富健二/なかよし食堂/武庫民協第3ブロック

【発行】尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5尼社協ほっと館3階

電話 06-4950-8863（平日9時～17時）/ファクシミリ06-4950-8913/メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。

